

宇都宮市上河内自治会議について

■上河内自治会議の設置目的

合併後の旧町地域が個性と活気あふれる魅力と地域づくりを行い、住民一人ひとりが実感できる豊かさを創出するため、住民を代表する組織として設置。

■法的位置づけ

条例で定める「市の附属機関」として設置

■設置期間

平成19年4月から平成29年3月（10年間）

■役割

- ・合併市町村基本計画主要事業の執行状況に関する答申
- ・地域まちづくりに関する施策の提案

■定員及び任期

- ・20人（2年）

地域のまちづくりに関する施策の提案について

地域の特性を活かし住民主体の魅力あるまちづくりを進めるため、「合併市町村基本計画」に掲げられた地域の目標像である「自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域」の実現に向け、上河内地域に合ったまちづくりの施策を考え隔年ごとに市長に提案

■策定までの経緯

《第1期：平成19～20年度》

- ・地域の目標像を実現するため、「まちづくりの3本の柱」とそれらを達成するための「7つの施策」を策定

《第2期：平成21～22年度》

- ・第1期提案を基に地域に欠かせないまちづくりの4つのテーマを導き出し、「産業・経済・交通」編の地域の現状と課題を整理し、「10年後の目標」と目標を達成するための「方策・実行プラン」を策定

《第3期：平成23～24年度》

- ・「子育て・教育」「環境・景観・防災・上下水」「健康・福祉」について提案

《第4期：平成25～26年度》

- ・地域の現状や社会情勢等を踏まえ評価・検証し、「産業・経済・交通」編を提案

《第5期：平成27～28年度》

- ・地域の現状や社会情勢等を踏まえ、「子育て・教育」「環境・景観・防災」「健康・福祉」編を評価・検証し、合併10年の集大成として、全4テーマを最終提案書としてまとめ市長へ提出

上河内のシンボルキャラクター

「ユッピーちゃん」



提案のテーマについて

地域の目標像を実現するため、まちづくりの「3本の柱」とそれらを達成するための「7つの施策」で構成し、まちづくりの3本の柱を具現化するための地域に欠かせないまちづくりのテーマとして、「産業・経済・交通」「子育て・教育」「環境・景観・防災」「健康・福祉」の4つのテーマ（分野）を定め、各テーマごとに、まちづくりに関する取り組みをより具現化するための方策を策定した。

地域の目標像

「自然と人が共生し、安心して暮らせる活力あふれる地域」

まちづくりの柱Ⅰ

地域の人たちが出会い、語り合い、ふれあうまち

- 施策① 地域内外の人との交流推進
- 施策② 地域活動を育む環境をつくり
- 施策③ 高齢者の生きがいづくりの推進

まちづくりの柱Ⅱ

地域資源を活かし、にぎわいがあり、楽しく暮らせるまち

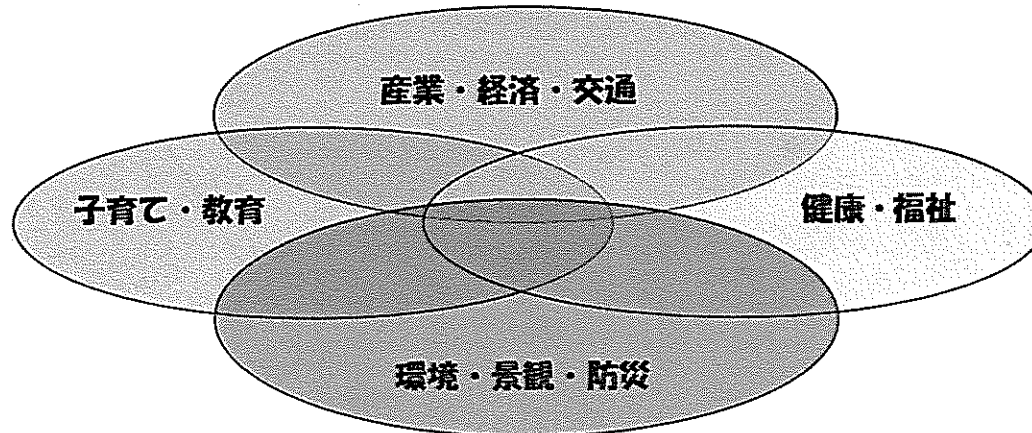
- 施策④ 地域の名所・旧跡・景観を活かしたまちづくりの推進

まちづくりの柱Ⅲ

地域が安全で、安心して暮らせるまち

- 施策⑤ 地域内交通の強化
- 施策⑥ 健康づくりを推進
- 施策⑦ 防犯・防災対策の充実

まちづくりのテーマ



各テーマの主な現状と課題

産業・経済・交通

- ・ゆずなどの農特産が商品化・ブランド化がされていない。
⇒ 商品開発を行い差別化を図る必要がある。
- ・農業が盛んであるが観光資源として活用されていない。
⇒ 観光農園などを充実させ、観光まちづくりとの連携を強化する必要がある。
- ・自然環境に恵まれ、歴史と伝統に育まれている地域である。
⇒ 地域資源を活かした交流事業を推進する必要がある。
- ・道路に狭隘な区間や歩道未整備の区間がある。
⇒ 安全性が向上するよう整備する必要がある。
- ・地域内交通やデマンドタクシーが運行されている。
⇒ 公共交通機関を活用し、拠点機能を高める必要がある。

子育て・教育

- ・親子での行事参加が少ない。
⇒ 地域とのふれあいができる行事を推進する必要がある。
- ・高い技術や能力を持った方がたくさんいる。
⇒ 子供の教育に活かしていく必要がある。
- ・子どもたちが一緒になって体を動かす機会が少ない。
⇒ スポーツに参加できる機会を増やす必要がある。
- ・子育て中の親同士が気軽に相談できる交流の場が少ない。
⇒ 気軽に集い相談できる環境を整える必要がある。

環境・景観・防災

- ・鬼怒川など水が豊かな地域である。
⇒ 水資源を活かしたまちづくりを推進する必要がある。
- ・ごみの不法投棄などがある。
⇒ 地域全体で環境保全活動に取り組む必要がある。
- ・農業従事者の高齢化や耕作放棄地が増加傾向にある。
⇒ 耕作放棄地や荒廃森林を有効活用する必要がある。
- ・美しい自然や景観などの地域資源がたくさんある。
⇒ 資源を活かし交流人口の増加に繋げる必要がある。
- ・地域によって、さまざまな災害の発生が想定される。
⇒ 地域に合った災害対策と防災体制を強化する必要がある。

健康・福祉

- ・高齢者の活躍できる機会が少ない。
⇒ 高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する必要がある。
- ・高齢者の生きがいに繋がる交流の場が少ない。
⇒ 高齢者の知恵や経験を活かした世代間の絆づくりを推進する必要がある。
- ・地域には、梵天の湯や上河内健康館がある。
⇒ 施設を有効活用し、健康づくりを推進する必要がある。
- ・地域には、新鮮な野菜等がたくさんある。
⇒ 食育活動を通じ、食への関心を高めていく必要がある。
- ・高齢者等が外出できる足が確保されていない。
⇒ 高齢者等の外出支援を充実させる必要がある。

産業・経済・交通

＜交通環境が整い、地域の資源を活かした産業が盛んな地域＞

【目標】

- 1 生産性の高い魅力ある農業が展開されている地域
- 2 資源を活かした交流事業の盛んな地域
- 3 人にやさしい交通網が整っている地域

【方策】

- 1 地域農産物を活かした農業の充実
- 2 地域資源を活かした観光の推進
- 3 地域内交通網の整備と地域内交通の利用推進

【取り組み】

農業の活性化に向けた6次産業化の推進
遊休地を活用した貸し農園の拡充
地域特産物などを活用した観光農園の開設

羽黒山を核とする地域資源を活かした観光振興と民間の観光との連携
サイクリングコース設定による交流人口の増加

安全性を確保するための道路の整備
利用者ニーズにあった公共交通の見直し

子育て・教育

＜みんなで見守り支えあい、子供たちが元気で成長できる地域＞

【目標】

- 1 みんながふれあい見守る地域
- 2 地域教育やスポーツが盛んな地域
- 3 子育て支援が充実した地域

【方策】

- 1 地域主催行事への積極的参加の推進
- 2 地域交流活動を通じた絆づくりの推進
- 3 子育て支援の充実と次世代を担う人材の育成

【取り組み】

行事参加意欲の向上
伝統行事や伝統文化の伝承
親子ふれあいの場の提供

地域ぐるみのあいさつ運動の実施
地域ぐるみのラジオ体操の実施
スポーツ参加機会の提供
地域資源を活かしたスポーツのできる環境づくり

家庭教育力の強化
こどもの家の交流
各種育成講座の開催

環境・景観・防災

＜人と豊かな自然が調和し、安心した暮らしを支えている地域＞

【目標】

- 1 豊かな地域資源が守られている地域
- 2 自然を活かした交流が盛んな地域
- 3 災害対策が整い、安心できる地域

【方策】

- 1 豊かな水資源の確保と環境保全活動の推進
- 2 地域資源を活用した交流人口の増加
- 3 災害に強い地域づくりの推進

【取り組み】

水質の保全
ごみ「0」運動の促進
花とみどりのまちづくり

耕作放棄地等の活用
地域資源の発見
山田川サイクリングロードの整備
ハイキングコースの整備
西鬼怒川堤の整備

災害対策の強化

上河内の自慢
～豊かな自然・賑やかな祭り
穏やかな人柄～

健康・福祉

＜地域の人々が生きがいを持ち、心豊かで元気に暮らしている地域＞

【目標】

- 1 生きがいを自ら創造し、生き生きと暮らせる地域
- 2 健康づくりが充実した地域
- 3 高齢者が活躍しやすい地域

【方策】

- 1 高齢者の生きがいをづくりの推進
- 2 健康づくりと地元食材を活かした食育の推進
- 3 高齢者の外出支援の充実

【取り組み】

老人クラブ等の強化による生きがいづくり
高齢者の社会参加の促進
世代間交流の充実

梵天の湯と上河内健康館の有効活用
歩くことによる健康づくり
食と触れ合う機会の提供
学校と連携した食育活動

高齢者の外出意欲の向上
デマンドタクシーを利用した外出支援の強化
高齢者の身近なふれあいづくりの場の提供

